

備前市事務事業評価表

事務事業名	市民ふれあい福祉まつり事業	コード	02-01-03-32
		担当課・係	福祉事務所障害者福祉係
		担当者	田中淳一
事業実施期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日	電話	内線183
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり	
	中項目(基本施策)	やさしさあふれるまちづくり	
	小項目(施策)	障害者（児）福祉	

事業について	
目的 (何のために)	高齢者や障害者を含む、誰もが社会参加できるための交流の場を提供する。
対象 (誰・何を対象に)	市内外を問わず、誰でも参加できる。
内容	式典、講演会、健康コーナー、ふれあいテント（模擬店、バザー）

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
参加人数	1,800 人	2,000 人	
参加団体数	16 団体	16 団体	
テント村出店数	17 張	15 張	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	900	国庫補助金等		直接事業費	765	国庫補助金等	
	人件費	3,965	委託費負担		人件費	2,550	委託費負担	
	合計	4,865	一般財源等	4,865	合計	3,315	一般財源等	3,315
						0	一般財源等	0

結果指標	結果指標名	参加者数	参加者数	
	結果指標量	1,800	2,000	
	単位	人	人	
結果指標	対前年比	-	111.11%	0.00%
	活動にかかるコスト	4,865,000 円	3,315,000 円	
	単位当たりコスト	2,703 円	1,657 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	高齢者や障害者を含む、誰もが社会参加できるための交流の場を提供する。		
成果指標名	参加者数	式又は説明	
	17年度	18年度	
成果指標量	1,800	2,000	
対前年比	-	111.11%	0.00%
到達目標値	2,000	到達目標年度	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：	妥当性評価<A~E> B
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	課題認識
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	課題認識
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> B	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	他の行事とも重なったこともあり、前年より多くの来場者がいた。

平成19年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	予算削減のため実施内容を検討中である。
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		

目標値	結果指標量	2,000	結果指標量
	成果指標量	参加者数	

総合評価	評価区分<A~E> B
テント村については来場者も多く、早めにうりきれていた。メインアリーナでの講演会は聞いている人が少なかったため来年度での実施を検討したい。	

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する <input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	催し物の実施内容	19年度	多くの人が集まり、楽しめるイベントの開催